

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上

☆ 院内行事のご紹介 ☆

当院ではレクリエーションの一環や患者様のご利用の満足度の向上として定期的な開催の「ものづくり教室」や「カラオケ会」だけでなく、不定期的にも様々な行事を開催しています。

今年度の下半期にはイベントとして「すし御膳」と「クリスマス会」を行いました。こうしたイベント時には患者様方もいつもと違う生き生きとした表情等をされます。患者様に喜んで頂くだけでなく、患者様の喜ばれる姿を拝見するのは当院の職員の励みにもなっています。

『令和1年10月30日 すし御膳』

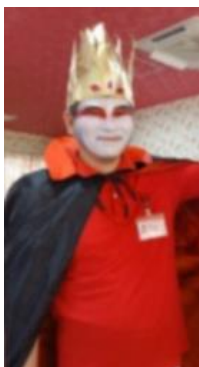
この数年は恒例となりました「すし御膳」を今年も行いました。今回のすし御膳は開催日が10月30日という事も有り、会場内の飾りつけはハロウィーン調になりました。ハロウィーン調の飾り付けだけでなく、職員の中には仮装？しての参加者もあり、盛り上がりのある「すし御膳」となりました。下の写真にもありますが、提供した内容は・握り寿司(一人前)、・かき玉汁、・蟹蒲鉾の砵(きぬた)巻、・杏仁豆腐です。今回もすし御膳を楽しみにしていた患者様方も多く、「お寿司以外にもうどん入り汁物や甘味もつくので、ご高齢の方には量が多いかなあ」と思う程でしたが、皆様はお召し上がり頂いていました。



患者様の前で握っています。



喫食中。皆様、良い表情♡



デー●ン閣下？
(職員です)



当日のメニュー。



『令和1年12月12日 クリスマス会』

クリスマスの近づいた日に「クリスマス会」を行いました。今年も町内の中学生が職業体験に来て頂きましたので、是非にサンタ隊で病棟を訪棟して下さい、とお願いしてクリスマス会に参加して頂きました。職業体験に来た中学生達は吹奏楽器の演奏可能な人が多く、各自の楽器を持参してクリスマス音楽の演奏を行いながら病棟訪問をしてくださいました。



サンタ隊長？



各自出発準備中。



サンタクロース隊集合。



いざ、出発！



吹奏楽隊演奏中。



★サービス付き高齢者向け住宅★



『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』



『サービス付き高齢者向け住宅 麻見江』

☆ 編集後記 ☆

今回は編集長の心に残っている物語についてつぶやきたいと思います。皆様はオスカー・ワイルドの短編集「幸福の王子」の中に収められている「ナイチンゲールと赤いバラ」という物語はご存じでしょうか？皆から鬼と言われる(?)編集長でさえも思わず涙する程の切ない物語です。因みにナイチンゲールといっても看護で有名な「フローレンス・ナイチンゲール氏」ではありませんよ。夜鳴きウグイス(鳥)の事です。ご存じない方の為に簡単にお伝えすると、ナイチンゲール(夜鳴きウグイス)は人間の貧しい学生に恋をします。その学生は好きな女性と舞踏会でダンスをする為に、赤いバラを必要としていました。女性は学生に赤いバラをくれたら一緒にダンスをしてくれると言ったからです。その事を知ったナイチンゲールは学生の望みを叶える為に自分の命を犠牲にする事で赤いバラを咲かせます。しかし、学生が思いを寄せる女性は心変わりをして、他の男性とダンスをする事になり、学生は失恋。赤いバラは不要となってしまいます。その上、その学生はナイチンゲールが命と引換えに咲かせた赤いバラを道端に捨ててしまうと言うお話です。この物語を読んで、自分自身と重なる気持ちになる方も多いのではないのでしょうか？老若男女を問わず、人生の悲哀に打ちのめされたりし、報われる努力もあれば、現実にはどれ程努力しても報われない、やるせない気持ちになってしまう事も有ると思います。だからと言って努力しても報われないかも知れないから、努力する必要はありません、と言う自棄的な事を訴える物語ではなく、この物語には現実社会には綺麗事だけではない、残酷な面もあるのですよ、と語りかけてくれているのかも知れません。

さて、本号(第20刊)が発刊される頃は年度末を迎える時期となります。新年を迎えるにあたり、世間でも新年の準備で慌ただしい...と思っておりましたが、新型コロナウイルスに対しての政府の発表があり...感染予防の為に当院も準備・対応を行っています。入院患者様の面会中止のご協力を頂くなどしております。ご面会を楽しみにしている患者様やご家族様方にもご理解とご協力を引き続きお願いします。編集長の娘が通っている小学校も突然の政府からの休校要請、翌日から急きょ休校になりました。新型コロナウイルスの国内外における事態の深刻さを感じます。この号が発刊される頃には事態が収束の兆しが見えて来ると良いのですが...